事業完了報告書

提出日：2023 年　　3 月　28 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人トルシーダ
（2）事業名　：つながりで作る多文化多様性が輝く地域プロジェクト
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：一般財団法人中部圏地域創造ファンド

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☐　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2）　内部通報制度は整備されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑　内部に窓口を設置 ／　☐　外部に窓口を設置 ／　☐　JANPIA の窓口を利用

（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 監査 会計士鈴木人史 2023 年 5 月に会計監査を行います。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している □ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	新三河タイムス 2022/6/4 「移動式屋台お披露目イベント拠点などで活用」当日の様子、移動公民館の活用、市長視察についての記事 （写真添付）

		テレビ愛知 2023/3/26　1:00AM～ 【ドキュメンタリー】枯れない愛在日ブラジル人弁護士が見たニッポン 日本で初めて弁護士になった照屋弁護士がトルシーダの教室で経験を語る番組
広報制作物等	有	フードパントリーと相談会の開催
報告書等	有	トルシーダ活動報告書（2023 年 5 月発行予定）

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

今まで見えなかった活躍できる人材となる住民が、活動を展開した保見団地に多数いることが分かった。ただし、外国人住民の多くは不安定な雇用で、地域活動に無償で参加する余裕はない。自分の得意なことやユーチューバー等自己実現的なことでの地域活動が収入になれば、自治区や高齢化する日本人住民の支援とつながる可能性があることが分かった。ただし、県営住宅の規制は大きい。

国は令和元年に「日本語教育推進に関する法律」を施行し、そこでは多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現を目的の一つとしている。この事業を通して日本語教室が地域の多文化共生や情報発信のハブ的役割を担うことは実感したが、外国人住民 4,000 人弱の保見団地で、日本語教室に通う住民はわずかである。外国人住民と共に運営する等、参加しやすい教室の拡充が求められる。

この事業では、豊田市国際まちづくり推進課や愛知県多文化共生推進室のご協力をいただきながら、民間主体で地域に寄り添った柔軟な活動ができた半面、制度がないことで、今後について活動資金確保の難しさがある。保見団地のような特定課題のある地域には、過疎地を対象に行われている「地域おこし協力隊」のような制度が必要と考える。

組織としては、事業を通して福祉関係や自治区、地域住民とつながり、地域づくり事業のための基盤整備ができた。NPO は落下傘活動といわれ、地縁組織に受け入れられない側面があるが、3 年間の継続事業で関係性が保てたことと、中部圏地域創造ファンドの伴走に支えられ、目標に向かうことができた。中間支援組織の重要性を実感し、感謝申し上げる。

【添付資料】

七夕祭り×フードパントリー
当初の PR 活動として、大人も子どもの参加できる七夕祭りとフードパントリーを実施。絵本の読み聞かせ、中古衣料、お米の配布等。外国人住民に加え、高齢者の参加も多かった。

卵配布

毎週金曜日の朝 7 時～8 時の卵配布。継続することで団地住民と知り合え、助け合いの雰囲気が醸成された。

子育てサロン

ママたちの希望でネイル教室を実施。イタリアの大会で優勝したネイリストによるネイル講座と自己実現のための努力についての話

移動式屋台お披露目
イベント拠点などで活用

子ども食堂デポ初開設
豊川、みよしに食材提供

でんじろう先生が
8月に科学ショー

ふれあい祭りと移動公民館制作が掲載された新聞

団地で開催された祭りに、人材マップインタビューに応えたブラジル人住民が出店。クラフトビール、ブラジル野菜、洋服等を販売。アートプロジェクト、移動公民館でのフリーコーヒー、絵本の配布も実施。

移動公民館は市長の視察があり、その後アートプロジェクトについて行政との話し合いが持たれた。

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。